

日本と台湾の観光交流について

1. 台湾からの訪日観光の状況



2010年に台湾から日本を訪れた観光客は127万人であり、国・地域別では韓国、中国に次いで第3位です。全体では861万人と、新型インフルエンザの影響で落ち込んだ2009年に比べると26.8%増加しています。

日本から海外を訪れた旅行者の数が1,652万人であるのに対し、日本を訪問する外国人旅行者は542万人と大きな格差があったことから、2003年1月に小泉総理大臣の指示のもと、日本政府はその格差を早期に是正する「グローバル観光戦略」を策定しました。

その中で「外国人旅行者訪日促進戦略」の一環としてビジット・ジャパン・キャンペーンの実施が決定され、その実施主体としてビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部が開設されました。

ビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部は、訪日者の増加が見込める12の国と地域を「促進重点国・地域」と定め、それぞれの国や地域の特性に合わせたPR活動を行っております。台湾もその促進重点国・地域に指定されており、俳優の林志玲さんも2004年から2006年の2年間、キャンペーンの台湾親善大使としてPR活動に活躍してくれました。

交流協会では、これまで観光庁等の関係機関と連携し、台湾からの訪日観光の促進に努めてまいりました。しかしながら、2011年3月末をもって日本観光協会（現：社団法人日本観光振興機構）台湾事務所が閉鎖されたことから、台北事務所における訪日観光促進事業担当の人員を増やし、機能を強化することになりました。

交流協会では訪日教育旅行促進事業などの主催事業のほか、観光振興を担う日本の地方公共団体や観光事業者向けに以下のサービスを提供しております。

- ①台湾の訪日観光市場についてのブリーフィング
- ②台湾での観光プロモーション事業実施支援
- ③台湾における日本の観光情報の提供

【訪日外国人者数推移】（単位：千人）

出典：日本政府観光局（JNTO）

	人口	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
合計	-	7,334	8,347	8,351	6,790	8,612
韓国	48,333	2,117	2,601	2,382	1,587	2,440
台湾	23,046	1,309	1,385	1,390	1,024	1,268
中国	1,345,751	817	942	1,000	1,006	1,413
米国	314,659	817	816	768	700	727



【交流協会台北事務所1階日本観光ブース】
観光パンフレットを配架しているほか、旅行相談も受け付けております。

台湾からの誘客をお考えの際はお気軽にご相談ください。

3月11日に発生した東日本大震災の影響で、2011年上半期に台湾から日本を訪れた旅客数は42万人と、前年同期比31.9%の減となりました。6月に台湾から日本を訪れた旅客数は87,700人で、前年同期比23.0%の減ですが、韓国▲42.0%、中国▲40.7%、香港▲40.0%に比べると市況の回復は早いと言えるでしょう。交流協会としましては、日本の観光地に関する正しい情報を発信することで、一刻も早い訪日観光の回復に努めてまいります。

2. 日本からの訪台観光の状況

一方、日本から台湾を訪れた観光客数は2010年には108万人であり、2009年に比べると7.9%増えています。台湾の人口が日本の人口の約5分の1であることに鑑みれば、もっと多くの日本の皆様に台湾に関心を持っていただき、台湾を訪れていただきたいものです。

【訪台外国人者数推移】(単位：千人)

出展：台湾交通部観光局

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
合計	3,520	3,716	3,845	4,395	5,567
日本	1,161	1,166	1,087	1,001	1,080
香港澳門	432	491	691	719	794
中国			329	972	1,631
米国	395	398	387	369	396

台湾交通部観光局では、「Taiwan, The Heart of Asia」をキャッチフレーズに「旅行台湾・感動100」キャンペーンを実施し、台湾への観光客の誘致を

行っています。2010年には台湾を訪れた外国人観光客は500万人を突破しましたが、2011年には650万人達成を目指して、官民一体となってPR活動や観光地の整備を行っています。

3. 日台観光交流について

2008年には日台双方の観光推進事業者が「日台観光推進協議会」を設立し、毎年「日台観光サミット」を開催しております。2010年3月に台湾の南投県で開催された第3回日台観光サミットでは、2010年から2011年を日台観光交流年と定め、日台の相互往来者数を300万人に増やすことを決議しました。



第4回目となる2011年は3月18日に金沢市で開催される予定でしたが、東日本大震災の影響で6月29日に延期になりました。今年のサミットでは、2010年の日台観光交流年の活動を分析した後、2012年を台日観光促進年に設定し、青少年の交流促進や航空機の座席の増加等の施策により相互往来者数300万人達成を図ることを決定しました。

最後に、東日本大震災の発生後、台湾交通部観光局や台湾観光協会をはじめとする台湾の観光事業者の皆様から被災地に対して多大な支援をいただきました。義捐金のほか、「台湾希望の旅」と題して、日本の被災者1,000名を台湾に2週間無料で招待するという支援プログラムも実施していただきました。御支援いただいた台湾の皆様により感謝申し上げます。